

令和5年度の減災に係る取組結果の報告

国土交通省の取組状況

■ 流下能力対策

対策箇所

・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所
 (上下流バランスを確保しながら実施)

計画: 2.65km (R6.1.31時点)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	R3年度まで	2.65km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 2.61km (R6.1.31時点)

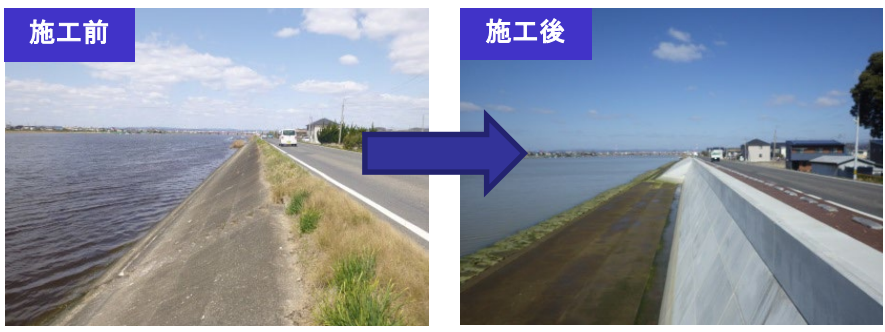
水系	年度	実施状況
旭川水系	R3年度まで	0.50km (累計19%)
	R4年度	0.50km (累計19%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

計画: 11.78km (R6.1.31時点)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R3年度まで	11.45km (累計97%)
	R4年度	11.45km (累計97%)

見直しにより対策不要となった区間を含む



旭川水系



高梁川水系

■パイピング対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊する恐れのある箇所

計画: 2.98km (R6.1.31時点)

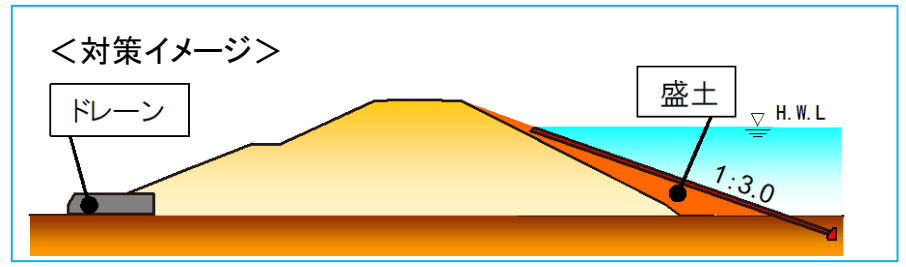
水系	年度	実施状況
旭川水系	R3年度まで	2.93km (累計98%)
	R4年度	2.98km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

■浸透対策

対策箇所

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊する恐れのある箇所



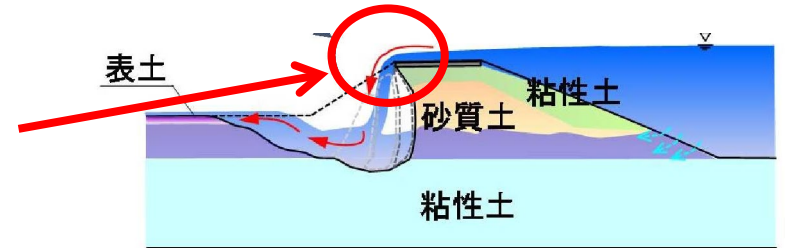
計画: 2.63km (R6.1.31時点)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	R3年度まで	2.48km (累計94%)
	R4年度	2.48km (累計94%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

■天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



計画: 2.60km (完) (H31.3.31現在)

計画: 1.23km (完) (H31.3.31現在)

計画: 0.69km (完) (H31.3.31現在)

水系	年度	実施状況
吉井川水系	H28年度まで	2.60km (累計100%)

水系	年度	実施状況
旭川水系	H28年度まで	1.23km (累計100%)

水系	年度	実施状況
高梁川水系	H28年度まで	0.69km (累計100%)

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む

見直しにより対策不要となった区間を含む



吉井川水系



高梁川水系

■まとめ

	吉井川水系	旭川水系	高梁川水系
流下能力対策	2.65km／ 2.65km(100%)	0.50km／ 2.61km(19%)	11.45km／ 11.78km(97%)
パイピング対策	—	2.98km／ 2.98km(100%)	—
浸透対策	—	—	2.48km／ 2.63km(94%)
堤防天端の保護	2.60km／ 2.60km(100%)	1.23km／ 1.23km(100%)	0.69km／ 0.69km(100%)

令和6年1月31日時点／全体計画(進捗率%)

■ 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

保有する水防資機材の状況を平素より管理し、必要に応じて補充するなど、緊急時における速やかな対応を図る。

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表 (R5.4現在)

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表(吉井川水系)

番号	保管場所	保管資材													保管場所 住所
		二種備蓄 土・砂・土 のうね	大粒土のうね	土のうね	ブルーシート	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	
1	岡山南島 太郎倉庫			1800											岡山南島区 太郎倉庫
2	岡山南島堤防倉庫			2000		10									岡山南島区堤防 倉庫
3	岡山東島倉庫			9000		6									岡山東島区倉庫
4	岡山東島倉庫			1700											岡山東島区倉庫
5	岡山東島倉庫			1000		10									岡山東島区倉庫
6	岡山東島倉庫			6000		11									岡山東島区倉庫
7	岡山東島倉庫			2000		10									岡山東島区倉庫
8	美郷支防倉庫			300		24									美郷支防倉庫
9	美郷支防倉庫			200		13									美郷支防倉庫
10	美郷支防倉庫			400											美郷支防倉庫
11	大田支防倉庫			3000		10									大田支防倉庫
12	身延支防倉庫			3000		10									身延支防倉庫
13	長瀬支防倉庫			100		31									長瀬支防倉庫
14	和泉支防倉庫			1600		30									和泉支防倉庫
A	和泉支防倉庫			0											和泉支防倉庫
B	和泉支防倉庫			700											和泉支防倉庫
C	和泉支防倉庫			300											和泉支防倉庫
D	和泉支防倉庫			400											和泉支防倉庫
E	和泉支防倉庫			900											和泉支防倉庫
F	和泉支防倉庫			1900		200									和泉支防倉庫
G	和泉支防倉庫			1700											和泉支防倉庫
H	和泉支防倉庫			0											和泉支防倉庫
I	金剛川水防倉庫			5000		150									金剛川水防倉庫
a	乙子水門			290											岡山南島区乙子水門
b	乙子水門			216											岡山南島区乙子水門
c	乙子水門			279											岡山南島区乙子水門
d	乙子水門			216											岡山南島区乙子水門
e	乙子水門			7		102									岡山南島区乙子水門
f	乙子水門			132		200									岡山南島区乙子水門
g	乙子水門			80		818									岡山南島区乙子水門
h	乙子水門			216											岡山南島区乙子水門
i	乙子水門			100											岡山南島区乙子水門
j	乙子水門			216											岡山南島区乙子水門
k	乙子水門			101											岡山南島区乙子水門
l	乙子水門			216											岡山南島区乙子水門
m	乙子水門			550		170									岡山南島区乙子水門
n	乙子水門			216											岡山南島区乙子水門
o	乙子水門			200											岡山南島区乙子水門
p	乙子水門			390											岡山南島区乙子水門
q	乙子水門			200											岡山南島区乙子水門
r	乙子水門			390											岡山南島区乙子水門
s	乙子水門			200											岡山南島区乙子水門
t	乙子水門			27		170									岡山南島区乙子水門

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表(旭川水系)

番号	保管場所	保管資材													保管場所 住所
		二種備蓄 土・砂・土 のうね	大粒土のうね	土のうね	ブルーシート	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	
1	備蓄水防倉庫			400		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
2	備蓄水防倉庫			1500											岡山南島区備蓄水防倉庫
3	備蓄水防倉庫			10000		20									岡山南島区備蓄水防倉庫
4	備蓄水防倉庫			2000		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
5	備蓄水防倉庫			300		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
6	備蓄水防倉庫			1800											岡山南島区備蓄水防倉庫
7	備蓄水防倉庫			500		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
8	備蓄水防倉庫			400		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
9	備蓄水防倉庫			600											岡山南島区備蓄水防倉庫
10	備蓄水防倉庫			600		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
11	備蓄水防倉庫			200		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
12	備蓄水防倉庫			400		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
13	備蓄水防倉庫			2000											岡山南島区備蓄水防倉庫
14	備蓄水防倉庫			400		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
15	備蓄水防倉庫			200		2									岡山南島区備蓄水防倉庫
16	備蓄水防倉庫			0											岡山南島区備蓄水防倉庫
A	備蓄水防倉庫			1900		0									岡山南島区備蓄水防倉庫
B	備蓄水防倉庫			500		0									岡山南島区備蓄水防倉庫
C	備蓄水防倉庫			1000		200									岡山南島区備蓄水防倉庫
D	備蓄水防倉庫			18000											岡山南島区備蓄水防倉庫
E	備蓄水防倉庫			2100											岡山南島区備蓄水防倉庫
a	備蓄水防倉庫			0		0									岡山南島区備蓄水防倉庫
b	備蓄水防倉庫			40		40									岡山南島区備蓄水防倉庫
c	備蓄水防倉庫			0		0									岡山南島区備蓄水防倉庫
d	備蓄水防倉庫			800											岡山南島区備蓄水防倉庫
e	備蓄水防倉庫			750											岡山南島区備蓄水防倉庫
f	備蓄水防倉庫			750		180									岡山南島区備蓄水防倉庫
g	備蓄水防倉庫			300		240									岡山南島区備蓄水防倉庫
h	備蓄水防倉庫			100		4000									岡山南島区備蓄水防倉庫
i	備蓄水防倉庫			100											岡山南島区備蓄水防倉庫
j	備蓄水防倉庫			49		0									岡山南島区備蓄水防倉庫

備蓄水防資機材及び備蓄土一覧表(高梁川水系)

番号	保管場所	保管資材													保管場所 住所
		二種備蓄 土・砂・土 のうね	大粒土のうね	土のうね	ブルーシート	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	ブルーシート (ブルーシート)	
1	備蓄水防倉庫			2000		40									備蓄水防倉庫
2	備蓄水防倉庫			1500		20									備蓄水防倉庫
3	備蓄水防倉庫			750		4									備蓄水防倉庫
4	備蓄水防倉庫			6000		14									備蓄水防倉庫
5	備蓄水防倉庫			2000		8									備蓄水防倉庫
6	備蓄水防倉庫			5000		9									備蓄水防倉庫
7	備蓄水防倉庫			1000		4									備蓄水防倉庫
8	備蓄水防倉庫			2000		210									備蓄水防倉庫
9	備蓄水防倉庫			6000		50									備蓄水防倉庫
10	備蓄水防倉庫			6000		9									備蓄水防倉庫
11	備蓄水防倉庫			300		2									備蓄水防倉庫
12	備蓄水防倉庫			480		10									備蓄水防倉庫
13	備蓄水防倉庫			2000		0									備蓄水防倉庫
14	備蓄水防倉庫			6000		2									備蓄水防倉庫
15	備蓄水防倉庫			1000		32									備蓄水防倉庫
16	備蓄水防倉庫			6000		2									備蓄水防倉庫
17	備蓄水防倉庫			1000		48									備蓄水防倉庫
18	備蓄水防倉庫			700		68									備蓄水防倉庫
19	備蓄水防倉庫			800		5									備蓄水防倉庫
20	備蓄水防倉庫			1300		1300									備蓄水防倉庫
21	備蓄水防倉庫			300		20									備蓄水防倉庫
22	備蓄水防倉庫			500		10									備蓄水防倉庫
23	備蓄水防倉庫			1100		742									備蓄水防倉庫
24	備蓄水防倉庫			3000											備蓄水防倉庫
25	備蓄水防倉庫			3480											備蓄水防倉庫
A	備蓄水防倉庫			700											備蓄水防倉庫
B	備蓄水防倉庫			1300		186									備蓄水防倉庫
C	備蓄水防倉庫			1200		210									備蓄水防倉庫
D	備蓄水防倉庫			1300		480									備蓄水防倉庫
a	備蓄水防倉庫			219		450									備蓄水防倉庫
b	備蓄水防倉庫			410											備蓄水防倉庫
c	備蓄水防倉庫			6		1000									備蓄水防倉庫
d	備蓄水防倉庫			300		15									備蓄水防倉庫
e	備蓄水防倉庫			110											備蓄水防倉庫
f	備蓄水防倉庫			1300											備蓄水防倉庫
g	備蓄水防倉庫			110											備蓄水防倉庫
h	備蓄水防倉庫			2		200									備蓄水防倉庫
i	備蓄水防倉庫			500		200									備蓄水防倉庫

迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み

■情報の伝達・発信

・令和5年5月27日(日)に岡山県和気郡和気町原地先(吉井川河川敷)で令和5年度吉井川総合水防演習を開催。国、県、市町村を始めとした関係団体52機関が参加し、情報伝達訓練、水防工法訓練、避難訓練等を実施した。

・情報伝達訓練は降雨、水位、注意報や警報といった情報を踏まえタイムラインに沿って、河川管理者から首長へホットラインを活用して情報提供し、自治体の避難指示に繋げるといった災害時行動に準じた内容を実施。

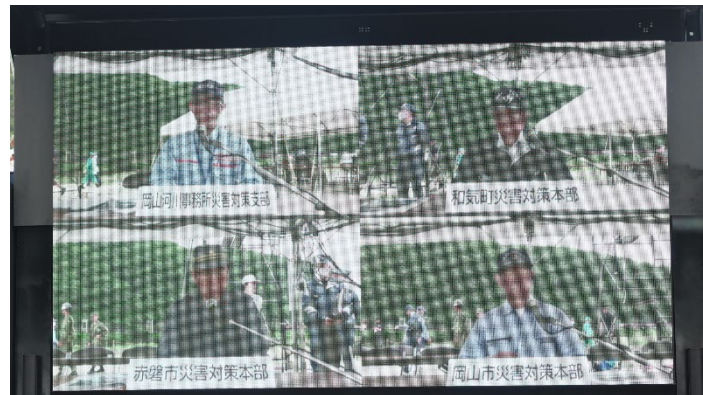
一般参加者の水防工法体験



災害対策用機械の実働



情報伝達訓練



■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

- ・令和5年5月27日(日)に岡山県和気郡和気町原地先(吉井川河川敷)で令和5年度吉井川総合水防演習を開催。国、県、市町村を始めとした関係団体52機関が参加し、情報伝達訓練、水防工法訓練、避難訓練等を実施。
- ・参加防災機関が想定された水位や降雨のタイミングで災害時に行う活動を連携しながら実演。

水防団で協力して
水防工法実施



警察と消防で連携
して救助活動



自衛隊と協力して
道路啓開



■住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及促進

- 令和5年6月25日(日)に美作大学(津山市)で開催された「西苫田地区自主防災・防犯連絡協議会 第7回防災訓練」の中で、洪水等の災害時に身を守るための行動を「マイ・タイムライン」の作成について「逃げキッド」を使用した講義を実施。あわせて国が発信する河川の情報として「川の防災情報」をウェブサイトで説明した。

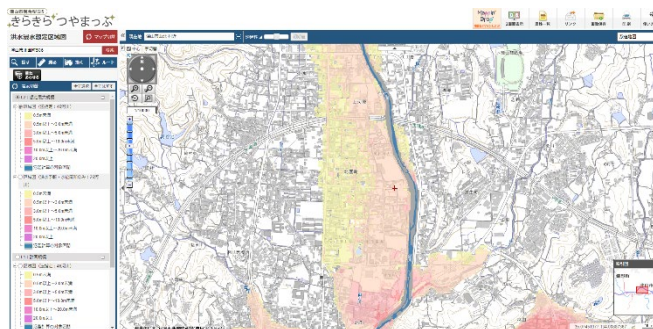
■開催日時:令和5年6月25日(日) 9:00~12:00

■開催場所:美作大学(津山市北園町)

■主催:津山市連合町内会西苫田支部ほか

■参加者:400名程度

■講師:岡山河川事務所防災情報課



講義で使用したハザードマップ
(WEB版)



マイ・タイムライン検討ツール
「逃げキッド」



「川の防災情報」ウェブサイト

▲ハザードマップを参照し、マイタイムラインの作成について説明

■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

地域住民の生命と財産を守るため「災害時の応急対策に関する協定」を締結し、災害時の迅速な活動体制を確保する。

令和5年度 災害応急対策活動等(測量・設計)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川 旭川 高梁川 (小田川)	アセス株式会社 株式会社荒谷建設コンサルタント いであ株式会社 株式会社ウエスコ 株式会社エイト日本技術開発 応用地質株式会社 基礎地盤コンサルタンツ株式会社 株式会社山陽設計 株式会社シディック 新光技術開発株式会社 西部技術コンサルタント株式会社 中電技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 日本インフラマネジメント株式会社 パシフィックコンサルタンツ株式会社 復建調査設計株式会社

令和5年度 災害応急対策活動等(写真撮影)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川 旭川 高梁川 (小田川)	株式会社秋山測量設計 株式会社荒谷建設コンサルタント 株式会社ウエスコ 株式会社エイテック 株式会社エイト日本技術開発 国際航業株式会社 株式会社シディック 西部技術コンサルタント株式会社 株式会社なんば技研 株式会社パスコ

令和5年度 河川等災害応急対策活動等基本協定

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川	栄光テクノ株式会社 大森建設工業株式会社 株式会社村上興業 株式会社元浜組 株式会社吉田組
旭川	アイサワ工業株式会社 株式会社荒木組 株式会社大都建設 株式会社大本組 株式会社奥野組 坂手建設株式会社 株式会社笹山工業 有限会社佐山建設 株式会社三幸工務店 株式会社竹内組 蜂谷工業株式会社
高梁川 (小田川)	株式会社大森工務店 株式会社小田組 株式会社カザケン 株式会社シンケン 中央建設株式会社 株式会社ナイカイアーキット 中村建設株式会社 株式会社ニシテクノ 株式会社藤原組 株式会社堀工務店

令和5年度 災害応急対策活動等(電気通信工事)

河川名	協定締結業者名(五十音順)
吉井川 旭川 高梁川 (小田川)	山陽電子工業株式会社 タイセイ電工株式会社

令和5年度 災害応急対策活動等
(排水ポンプ車・照明車の運送及び運転操作業務)

災害対策用機械	協定締結業者名(五十音順)
排水ポンプ車	株式会社荒木組 栄光テクノ株式会社 株式会社奥野組
照明車	株式会社小田組 株式会社笹山工業
待機支援車	株式会社三幸工務店 株式会社シンケン 蜂谷工業株式会社 株式会社村上興業

■ 排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

「災害時の応急対策に関する協定」の締結協力事業者を対象に災害対策機械の操作訓練を実施し、操作の習熟度向上を図る。令和5年度は、高梁川、旭川、百間川、吉井川の4会場で操作訓練を行い、高梁川会場では倉敷市と、吉井川会場では和気町と合同で操作訓練を行った。(和気町との合同訓練は今回が初。延べ参加者約184名)

災害対策機械訓練状況(高梁川水系・旭川水系訓練6月13日、吉井川水系訓練6月12日(百間川6月7日))



倉敷市と合同で操作訓練(令和5年)



旭川排水ポンプ車訓練(令和5年)



吉井川排水ポンプ車訓練(令和5年)



高梁川照明車訓練(令和5年)



旭川照明車訓練(令和5年)



吉井川照明車訓練(令和5年)

■小田川堤防強化

- 平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した高梁川水系小田川において、再度災害防止を図るため、『真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策)』として、小田川の堤防強化を実施。

・事業期間： 2019年度～2023年度

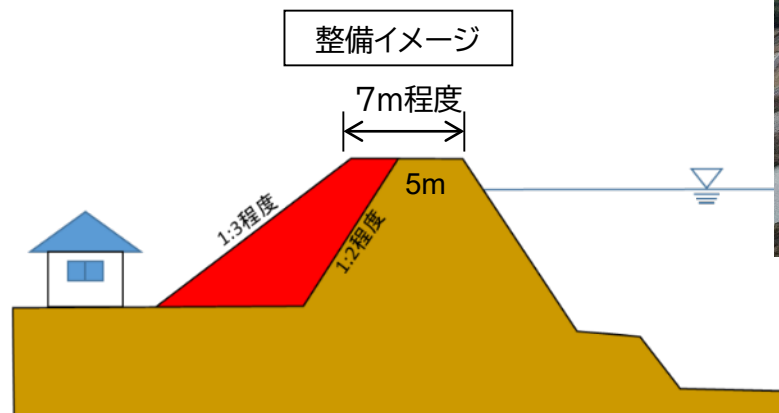
※2021年度に9.5kmが概成し、2022年度以降は樋門部等の残区間を整備中

・事業内容

小田川等の河道掘削で発生する大量の土砂を有効活用し小田川の堤防を強化

・事業効果

- (1) 堤防断面拡大やドレーン設置により、洪水時に河川水や雨水が堤防に浸透し、堤防が弱体化することを防ぐ
- (2) 緊急車両の通行や排水ポンプ車の作業のためのスペース及び緊急時の避難路の確保を目的として、堤防断面の拡大を実施



■小田川合流点付替え事業

- 高梁川と小田川の合流点を下流側に付替え、小田川の水位を抜本的に低下。
- 平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した高梁川水系小田川において、再度災害防止を図るため、『真備緊急治水対策プロジェクト(ハード対策)』として「小田川合流点付替え事業」の完成時期を前倒して実施。

■事業期間： 2018年度～2023年度

■事業内容

現在の柳井原貯水池を活用し、高梁川との合流位置を約4.6km下流に付替え、小田川と高梁川の水位を下げることにより、小田川沿川及び倉敷市街地における治水安全度の向上を図る

■事業効果

- (1)洪水時に高梁川からの背水影響が減少し、小田川の洪水時の水位が大幅に低下
- (2)小田川を下流で合流させることにより、高梁川酒津地点の水位も低下



■河川防災ステーションの整備

■地域住民要望を反映した活用方策の検討：

- 河川防災ステーションの平常時の利活用に関する地域住民からの要望に基づき、倉敷市では、平成29年以降、地域住民による整備検討委員会を設置し、これまでに計7回の委員会にて合意形成を図っている
- 令和4年7月の検討委員会では、平常時の公園利用として、多目的広場、緑地広場のほか、施設配置(案)について協議が行われ、とりまとめられた
- 令和4年11月には地域が主催する健康ウォーキングのルートの一部について工事現場内を通行し、工事の進捗状況及び今後の工事予定について説明を実施



河川防災ステーション基盤整備の様子

■工事の進捗状況：

- 令和3年度より南山での掘削土を有効活用し基盤整備を行い、水防センター建設にも着手。引き続き、施設整備をを推進



健康ウォーキングの様子



水防センターイメージ図(倉敷市建築中)

■マイ・タイムラインの作成支援

- 災害を我がことと捉え行動する意識を広めるため、マイ・タイムラインについての出前講座を継続的に実施。
- 出前講座で利用するマイ・タイムライン作成支援ツールセット『逃げキッド』には、平成30年7月豪雨で真備町内の住民から避難時に役立った物、必要と感じた物などのご意見をいただき作成したヒント集も同封。
- また、避難時に支援を必要とする「要配慮者」の避難を、要配慮者本人とその家族、隣近所、民生委員、福祉事業所職員等と一緒に考える『要配慮者マイ・タイムライン』作成のサポートも実施。

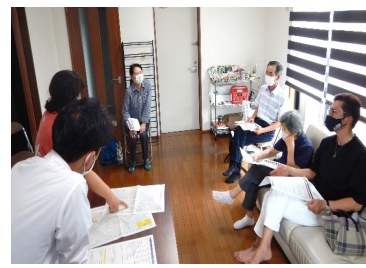


氏名	住所	年齢	性別	要配慮者	マイ・タイムライン作成状況
山田 太郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	65	男	要配慮者	作成済み
山田 次郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	68	男	要配慮者	作成済み
山田 三郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	70	男	要配慮者	作成済み
山田 四郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	72	男	要配慮者	作成済み
山田 五郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	75	男	要配慮者	作成済み
山田 六郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	78	男	要配慮者	作成済み
山田 七郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	80	男	要配慮者	作成済み
山田 八郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	82	男	要配慮者	作成済み
山田 九郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	85	男	要配慮者	作成済み
山田 十郎	〒718-0001 高梁市 〇〇町 〇〇番 〇〇号	88	男	要配慮者	作成済み

マイ・タイムライン出前講座



要配慮マイ・タイムライン作成サポート



真備町住民からの意見をまとめたヒント集を同封した『逃げキッド』

『要配慮者マイ・タイムライン』作成シートと真備町での作成実例等を記載したヒント集

※令和元年10月以降、出前講座50回以上の開催、約2000人以上が受講

■ 防災関係動画等を公開

- YouTubeで防災に関わる各種動画を公開。
- 要配慮者の避難について考えてもらうきっかけとするため、劇団OiBokkeShi(オイボッケシ)協力のもと、ミニドラマ『岡谷さんのマイ・タイムライン』を制作。
- 全国各地で頻発する自然災害の教訓となるよう、被災者の方々へのインタビュー動画『平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ～』を10本(1本約10分)制作。
- 倉敷芸術科学大学協力のもと、要配慮者マイ・タイムライン作成啓発漫画『僕に出来ること～大切な人を守るための要配慮者マイ・タイムライン～』を制作し、倉敷市内の公立小中学校に配布。



要配慮者マイ・タイムライン作成支援動画
『岡谷さんのマイ・タイムライン』
事務所公式YouTubeで公開中



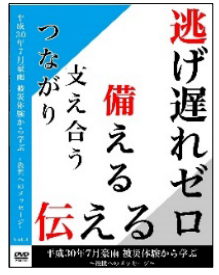
DVD版



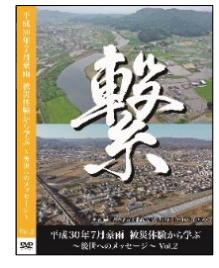
漫画版



『平成30年7月豪雨 被災体験から学ぶ～後世へのメッセージ～』
事務所公式YouTubeで公開中



DVD版第一弾
(令和3年7月)



DVD版第二弾
(令和3年12月)
題字は倉敷商業高校書道部の学生が揮毫



要配慮者マイ・タイムライン啓発漫画
『僕に出来ること』



事務所公式YouTubeで漫画動画も公開中



倉敷芸術科学大学制作の真備復興漫画合体版

岡山県の取組状況

■河川の流水を阻害する堆積土や繁茂樹木の除去

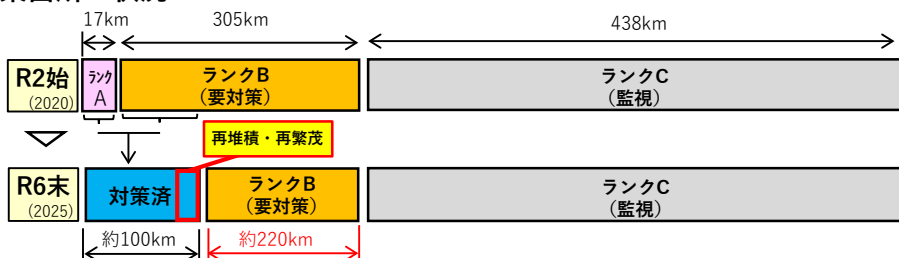
河道掘削・樹木伐採の推進と拡充

【現状・課題】

- ・河道内整備実施計画(R2.4)に基づき、令和4年度までに、約78kmの河道掘削等を実施し、令和6年度には100kmを達成できる見込み
- ・令和7年度以降もランクB（要対策箇所）の約7割（約220km）が残る
- ・河道掘削等を実施した一部の箇所では、土砂の再堆積が確認され、草木も生育し始めている



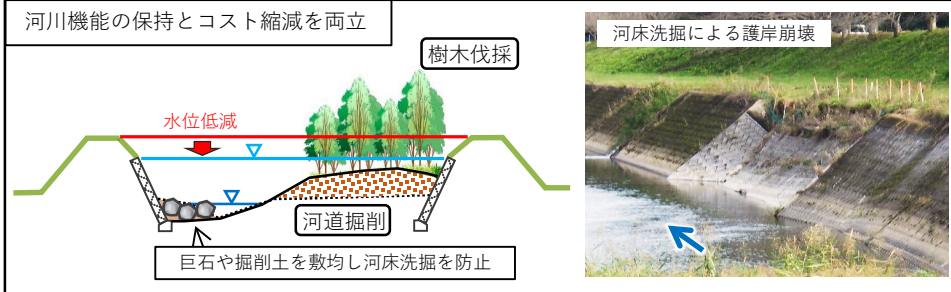
①要対策箇所の状況



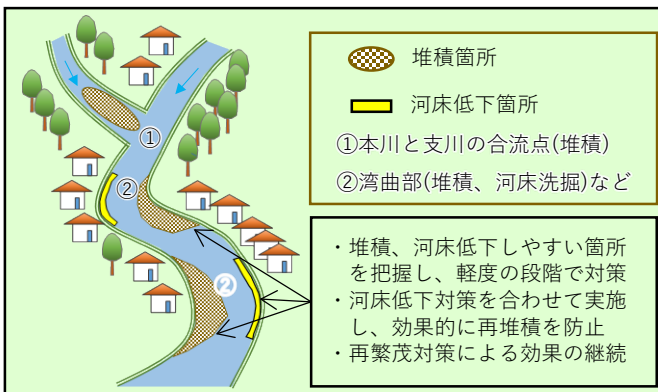
②土砂の再堆積、樹木の再繁茂



①効果的な河道内整備の推進 拡充



②河床低下・再堆積・再繁茂対策 新規



期待される効果

- ・河道掘削・樹木伐採により洪水時の水位を下げ、浸水リスクを低減
- ・これまでの取組の成果を維持し、持続可能な河川管理を実施

スケジュール・事業費

※R6(2024)の河道内整備に係る事業費のうち、4億円は、R2(2020)～R6(2024)の重点事業として予定していたもの

河道内整備事業（新ふるさとの川リフレッシュ事業）R2(2020)～R6(2024)の拡充

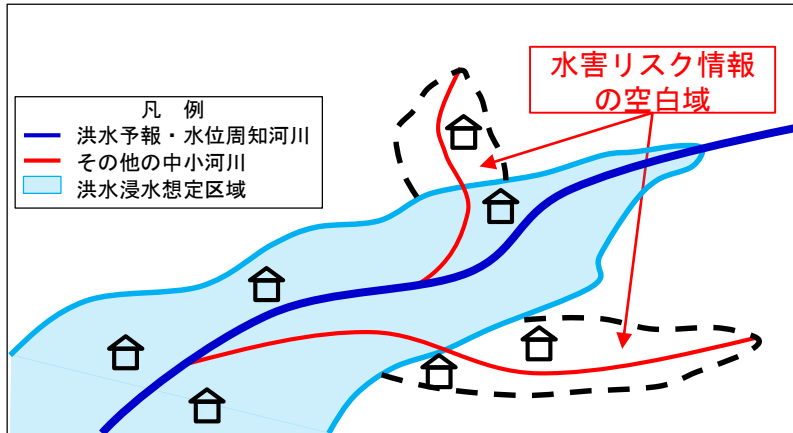
実施内容	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	合計
河道内整備	10億円	6.5億円	6.5億円	6.5億円	6.5億円	36億円
河床低下・再堆積・再繁茂対策	3億円	2億円	2億円	2億円	2億円	11億円
R6(2024)～R10(2028)合計					47億円	

■ 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表（岡山県管理区間）

洪水予報河川等については、洪水浸水想定区域図を作成し水害リスク情報を公表している。その他の中小河川についても、浸水被害の全国的な発生を踏まえ、令和3年度に水防法が改正されたことから、区域図を作成し洪水による水害リスク情報の空白域を解消する。

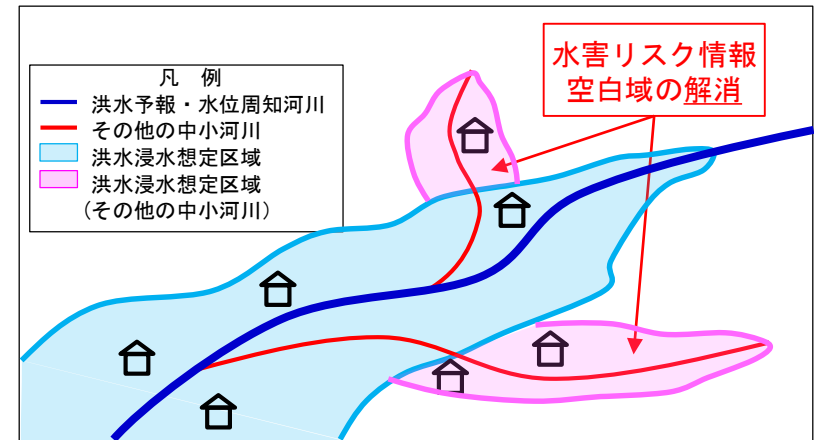
◆ 現状・課題

中小河川では、一部を除き、洪水浸水想定区域図を公表しておらず、水害リスク情報の空白域が存在する。



◆ 取組内容

中小河川の氾濫により浸水が想定される範囲について、洪水浸水想定区域図を作成。



◆ 効果

洪水浸水想定区域図を、水害リスク情報として公表することにより、住民等の、水害を「我がこと」として捉える意識の醸成が進み、洪水時における円滑かつ迅速な避難行動が促進される。

◆ R5実施内容

旭川水系の中小河川において、想定最大規模(L2)及び計画規模(L1)の洪水浸水想定区域図を作成。

■ 災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

防災教育教材の作成及び出前講座の開催

子供の頃からの地域に根ざした防災教育を推進するため、学校や家庭などで活用できる防災教育教材「おかやま備災手帳」を作成し、小中高生を対象に「備災出前講座」を開催した。

《備災出前講座》

- ・ 自然災害やハザードマップの学習
- ・ グループディスカッション
(災害について取り組みたいことを生徒同士で話し合っ発表)



「おかやま備災手帳」
備前県民局建設部(東備地域)

■ 災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

防災の日・防災週間にあわせた防災の普及啓発

【目的】
 いつ起こるかわからない地震や風水害に対して、県民自らが災害に備えることの重要性を呼びかけ、県民の防災意識の高揚を図る。

【内容】

- ・毎年、防災の日(9月1日)及び防災週間(8月30日～9月5日)にあわせて、ホームセンター等に防災コーナーの設置協力を依頼
- ・令和5年度は、新たに100円均一ショップと連携して防災コーナーを設置、県の広報番組の放送
- ・県が作成している防災ガイド「ももたろうの防災」や、「Yahoo!防災速報」チラシの配布、啓発パネルの展示等を実施

【効果】

- ・防災ガイド・チラシの配布による県民の防災意識向上
- ・防災グッズ等を活用した備えの促進

おかやま防災シンポジウムの開催

【目的】
 平成30年7月豪雨災害から5年を迎え、あらためて豪雨災害の経験や教訓を振り返り、県民の防災意識の高揚を図る。

【内容】

- ・基調講演、パネルディスカッション
- ・パネル等の展示、AR・VR体験、起震車による地震体験、非常食の試食、防災グッズの展示
- ・令和5年度のみ実施
- ・参加者300名

【効果】

- ・基調講演やパネルディスカッションによる県民の防災意識向上
- ・防災ガイド・チラシの配布による県民の防災意識向上
- ・防災体験やグッズ等を活用した備えの促進



岡山県立図書館



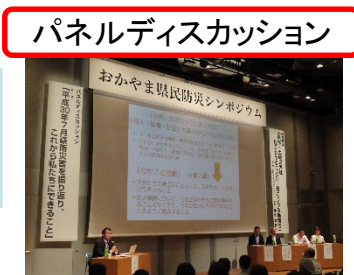
防災ポスター



DAISO



広報番組



パネルディスカッション



VR体験



非常食の試食



防災グッズの展示

■ 関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(令和3年度～)実働水防訓練の実施

令和5年10月28日、今在家河川防災ステーション(岡山市中区)にて、「岡山県水防技術講習会」を開催し、消防団員等28名により、水防工法の演習等を行いました。
また、本講習会へは、自主防災組織の方も参加し、水防活動への理解を深めました。



講義



改良積み土のう工法



土のう作成



ロープワーク



月の輪工法



自主防災組織による見学

市町村等の取組状況 (吉井川水系・旭川水系)

■ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用

WEB版ハザードマップの普及、利用促進

- 市民から「外出時には紙のハザードマップが手元になくて活用ができない」、「災害発生時に、現在地から一番近い避難所が分からない、どこに向かって避難してよいか分からない」といった声が寄せられていたため、令和5年2月にWEB版ハザードマップを導入しました。
- 市民を対象にした出前講座、総合防災訓練や町内会長等を対象とした地域説明会で、WEB版ハザードマップの使用方法を説明しました。実際にタブレット端末やスマートフォンで、「洪水・土砂」、「高潮」、「津波」のハザードマップや、位置情報機能を活用し、現在地周辺のハザード情報をはじめ、避難所の情報(開設状況、混雑状況)やそこに至るルートを確認してもらいました。また、位置情報の自動更新や、避難情報の発令地域を視覚的に確認できる機能を追加し、より使いやすいものとなるように取り組みました。

■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
 ■住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及促進

防災ラジオ販売事業・つやま災害情報メール・津山市版マイタイムラインの普及促進

緊急告知防災ラジオ

旧津山地域では、災害時に緊急放送を自動起動で配信する緊急告知防災ラジオの販売を行っています。

対象 旧津山地域の世帯 (1世帯1台)

金額 3,250円(消費税込)

購入方法 津山市役所、危機管理室に備え付けの購入申込書に記入・提出して購入する。

※事前に設置予定場所で、エフエムつやま(78.0MHz)が受信できることを確認しておく必要があります。



つやま災害情報メール

災害情報や火災情報などを配信しています。次の登録用アドレス、またはQRコードから空メールを送信します。返信されたメールから登録サイトにアクセスして登録してください。

登録用アドレス t-tsuyama@sg-m.jp

QRコード



防災講話等において普及啓発を行っている。

津山市 家の避難計画(風水害用)【マイ・タイムライン】 作成年月日 令和 年 月 日

時間	事前に確認しておくこと	平常時に備えておく	台風が来る前に備える	避難行動の準備	避難の実施 または、身の安全の確保
平常時	○自宅の状況の確認(自宅の周りの危険性について、ハザードマップから確認しよう) □土砂災害警戒区域内 □土砂災害特別区域 □浸水想定区域 想定浸水深 m~ m ○避難する場所(避難先での感染症を予防するため3型等を行けるには、どのような場所に避難できるか考えよう) □指定避難所 □地域の自主避難所 □親戚・知人宅 □自宅の浸水しない場所 □ その他 実際に避難する場所: _____ 避難する場所までの移動時間: _____ 分 ※避難する場所の開設状況は、事前に確認してから避難しよう!! ○避難する場所までの交通手段 交通手段: _____ ○避難する際、我が家を支援してくれる人 名前: _____ 電話: _____ ○避難する際、我が家を支援する人 名前: _____ 電話: _____ ○災害情報等取得する手段(屋内や屋外で利用できるよう、複数の情報取得手段を準備しておくことが重要) □つやま災害情報メール □緊急告知防災ラジオ □防災行政無線 □テレビ □ラジオ □ホームページ □スマートフォンのアプリ(Yahoo!防災・LINE等) □その他() ○避難を開始するタイミング タイミング: _____ ○避難に必要なもの(非常持ち出し品)(避難先での感染症を予防のため、裏面のチェックリストと併せて必要なものを) □マスク □アルコール消毒液 □体温計 □ハンドソープ □上履き、スリッパ □使い捨てビニール手袋 □ティッシュ、ウェットティッシュ、ポリ袋等 □持病用の常備薬、お薬手帳 □水 □使い捨てビニールエプロン、またはゴミ袋 □携帯トイレ □住所・氏名及び緊急連絡先を記入したメモ等	想定 気象情報・警戒レベル等 我が家が取らべき行動と備え 行動と備え(参考例)			
3日以前	【台風発生】 《台風の進路予想が天気予報などで伝えられる》 ◇台風に関する岡山県気象情報(警戒レベル1)	○テレビの天気予報に注意 ○今後の台風を調べ始める ○家族全員今後の予定の確認 ○マイ・タイムラインを確認 ○1週間分の薬を病院に取りに行く ○避難する時に持っていく物を確認・準備する ○家の周りに風等で飛ばされるようなものはないか確認			
24時間前	◇大雨注意報、洪水注意報(警戒レベル2) 《台風が近づいて雨や風が徐々に強くなる》 □大雨・洪水情報の発表 △津山市災害警戒本部設置	○テレビ・インターネット・メール等で雨や川の様子に注意 ○家族全員今後の予定を確認 ○つやま災害情報メールや緊急告知防災ラジオなどで情報を得る			
12時間前	水防団待機水位に到達 避難注意水位に到達	○住んでいる場所と上の屋や山崩地の雨量を調べる ○ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 ○川の水位や雨量を調べる ○携帯電話の充電 ○避難しやすい服装に着替える ○避難に時間がかかる高齢者等は避難を開始 ○避難を開始			
5時間前	避難判断水位に到達 ◇避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)	○避難する人は避難開始。(高齢者等は避難完了) ☆避難する全ての人が避難を完了			
3時間前	避難危険水位に到達 ◇避難勧告・避難指示(緊急)(警戒レベル4)	○避難する人は避難開始。(高齢者等は避難完了) ☆避難する全ての人が避難を完了			
0時間	河川が氾濫する【災害発生】 ◇災害発生時(警戒レベル5)	○避難が完了していない人は命を守る最善の行動を!			

※想定はあくまでも参考です。状況により変化します。気象情報や警戒レベル等が発表されるタイミングも状況により変化します。
 ※マイ・タイムラインは、あくまでも避難行動の目安です。状況によっては、タイムラインより早めに避難行動を起こすことも大切です。

■水防災に関する説明会、出前講座の開催

「玉野市防災ハザードマップ」に基づく出前講座の実施

○ 令和4年度に更新された「玉野市防災ハザードマップ」を用いて市職員が講師として出前講座を開催し、防災についての知識を深め災害時に備えることを目的として、洪水等の災害時に身を守るための行動を「マイ・タイムライン」として作成方法を周知

■開催日時: 令和6年1月11日(木)13:00~15:00

■開催場所: 玉野市田井市民センター

■主 催: 玉野市危機管理課

■参加者: 30名程度

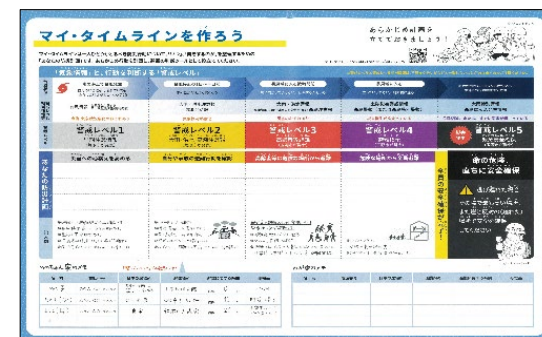
■講 師: 玉野市危機管理課



玉野市防災ハザードマップ



▲出前講座によりハザードマップの活用方法を説明



「マイ・タイムライン」について

■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布**デジタル防災行政無線(同報系)の整備**

○ 災害発生時における地域住民への迅速かつ的確な情報伝達体制を確立するため、市内全域にデジタル防災行政無線(同報系)を整備、併せて戸別受信機を貸与する。

【整備箇所】

市内全域(市役所、総合支所、消防組合、市内各所)

【整備内容】

親局、中継局、遠隔制御局、屋外拡声子局、再送信子局、戸別受信機など

【実施期間】

整備期間;令和2年度～令和4年度、 運用開始;令和5年度～



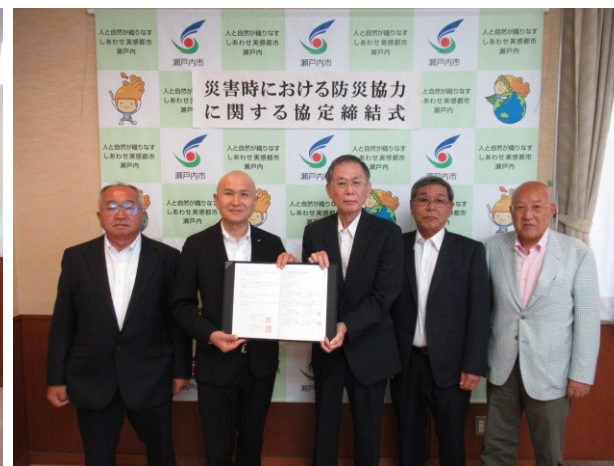
■地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築

地域の様々な業者等と災害時の協定を締結(随時)

災害時の応援協定等については、近年の防災に関する気運の高まりにより、多数の業者や団体から申し出があり締結を行っている。今年度も新たに6つの業者や団体と協定を締結し、その内容は多岐に渡る。

【R5年度締結団体等】

- ・あいおいニッセイ同和損保(広域水災発生時の共同取組)
- ・株式会社ユニオンアルファ(レンタル機材の提供)
- ・公益財団法人岡山県柔道整復師会(避難所における人的支援)
- ・岡山県建設業協会西大寺支部(災害時の応急措置等)
- ・株式会社わたなべ生鮮館(物資の供給等)
- ・株式会社ナフコ(物資の供給等)



■多機関連携型タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練

赤磐市水害対応訓練を実施

- 県主催の岡山県水害対応訓練に特定市町村として参加。出水期を前に、風水害を想定して、県と市町村・防災関係機関等との情報収集・伝達や、災害対策本部の運営訓練等を実施して、応急対応力の向上を図った。また、同時に避難所開設の実働訓練を行った。
- 訓練はロールプレイング方式によるブラインド型訓練で行い、河川の氾濫、土砂災害等の状況付与に対して対応を行うことで、防災対応力の向上を図った。
- 実働訓練では熊山武道館で避難所開設訓練を行い、あわせて避難所資材の使用講習を行った。

■日時:令和5年5月31日(月) 9:00~17:00

■場所:赤磐市本庁舎2階大会議室、熊山武道館

■連携機関:岡山県

■参加者:市長、副市長以下40名



▲地図を利用した状況確認



▲対策本部会議の様子

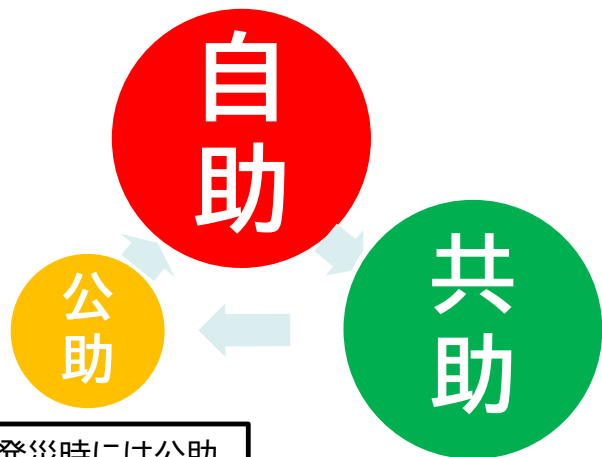


避難所開設訓練の様子

■防災出前講座の実施

・防災出前講座の概要

地域の防災力の持続的な向上を目的に、自助・共助を主題とした防災出前講座を実施している。
危険個所の確認や避難訓練、防災情報の提供などを実施している。



発災時には公助の力は小さい。

・波及効果

災害リスクを地域や家庭内で共有することにより、事前の備えの促進につなげる。



地域防災力の向上

【各種団体での説明会の様子】



防災出前講座の実績

- ・令和5年度は70回実施(12月末時点)
- ・参加者数:3,790人
- ・自主防災組織対象:15回
- ・小学校や中学校など教育機関対象:14回
- ・その他団体(JA女性部・学童クラブ・自治会・愛育委員・学校保護者など)

- 排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

可搬式排水ポンプの活用訓練を開催

- 吉野川流域を中心に、美作市役所本庁、4支所、消防本部、美作市浄化センターに16台を配備。
- 浸水被害の減少や、浸水したときの早期復旧、避難するための時間を少しでも長く確保できることを期待する。

○ 講習を受けたものを主導とした使用を想定しているため、誰でも動かせるように定期的に講習会を開催。要請があれば、消防本部での操作訓練や、利用場所を想定した現地での訓練も行う。



訓練の様子



ポンプ操作講習

■ 要配慮者利用施設の避難計画の作成支援及び訓練の促進

■ 取組の内容

- 福祉避難所の役割、開設までの流れを知ること。
- 訓練を通じて、福祉避難所の開設・運営に必要なものを検討すること。
- 福祉避難所指定施設の災害対応マニュアルと「福祉避難所開設マニュアル」いずれにも沿った形で職員が行動をとれるようになること。

■ 開催日時: 令和5年12月19日(火) 9:30~11:30

■ 開催場所: 障害者支援施設しずたに

■ 主催: 和気町

■ 参加者: 町内福祉避難所指定施設職員、町職員40名程度

■ 講師: 兵庫県立大学大学院 松川 杏寧 准教授



■円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置

量水標、CCTVカメラの設置

【目的】

災害対策本部での避難勧告等の発令を定量情報を基に迅速に行うため、村独自で村内2か所に夜間でも量水板を直接視認できる河川監視カメラを設置

【特徴】

○光ファイバーと商用電源を用いたカメラのため画像が鮮明

表示画面(平成30年台風24号接近時)

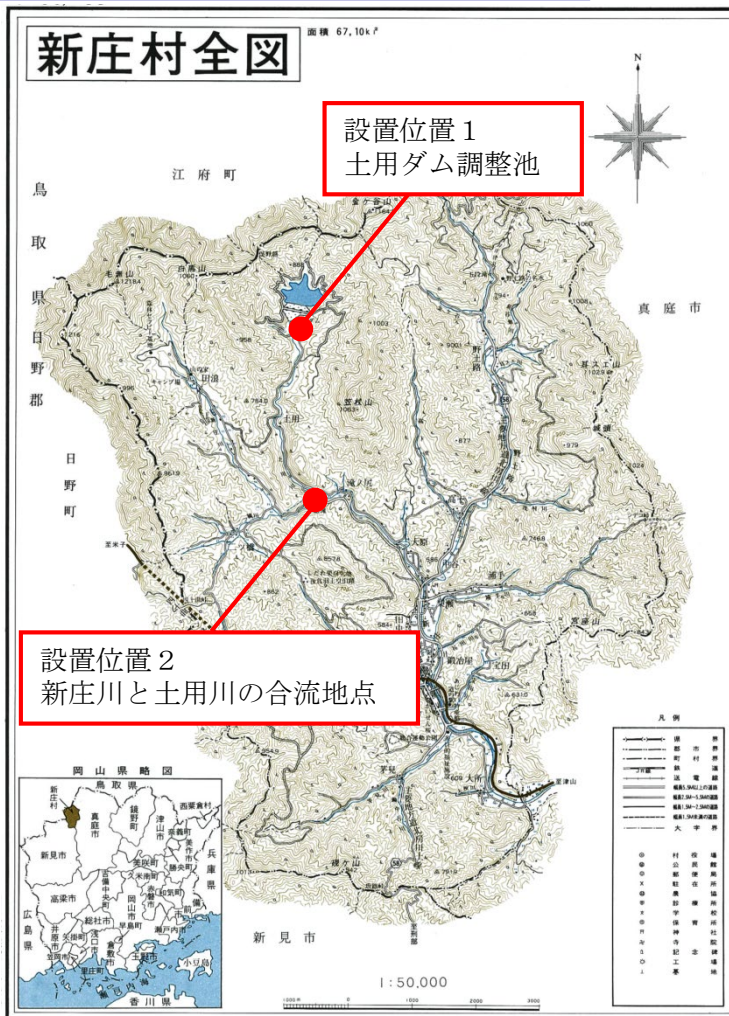


14:00頃
水位0.9m程度



18:00頃
水位1.7m程度

設置位置



■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

出張防災講座の開催

- 鏡野町内の地域、福祉施設、保育園や小学校を対象に、避難行動、ハザードマップ、備蓄品などについて出前講座を行い、防災についての知識や備えについて啓発を行う。



【地区防災マップ作り】



【保育園防災出前講座】

●出張防災講座

町内会、学校、幼稚園、保育園、婦人会、老人会、民生・栄養委員、放課後児童クラブ、地区こども会など様々な団体組織に対して防災に関する啓発活動を行い、防災に関心を持っていただき、災害時における自助及び共助で避難行動が行えることを目的としている。

●実績

令和5年度 防災マップづくり(2地区)、小学校出張防災講座(5校)

■円滑な避難行動や水防活動を支援するため、危機管理型水位計や量水標、CCTVカメラの設置

河川監視カメラ及び防災システムとの連携について

【目的】

河川の水位状況を河川監視カメラ映像でリアルタイムで配信することにより、水防活動体制や避難行動に活用する。

事業費 10,000千円

【画像配信】※公開イメージ

- 鏡野町ホームページ
- 鏡野町ケーブルテレビ
- ネット会社等からの問い合わせにより、情報提供



設置状況



【設置場所:吉井川水系】

町内10カ所に設置

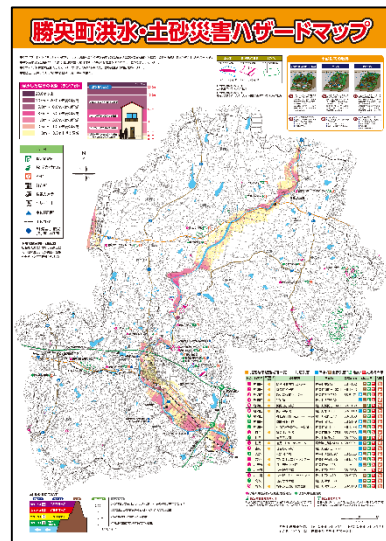
- ・鏡野地域:新森原、香々美、百谷、土居、入
- ・奥津地域:井坂
- ・上齋原地域:上齋原
- ・富地域:富東谷(山口)、富東谷(大原)、大

鏡野町役場 危機管理室に集中管理システム設置

■住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及促進

- 『勝央町洪水・土砂災害ハザードマップ』を更新し、想定最大規模降雨に対応したハザードマップを公表した。
- 災害時において、住民自らが考え、命を守る避難行動をとることを目的として、ハザードマップ(情報面)に、「マイ・タイムライン」を追加した。
- 地区及び自主防災組織において、「マイ・タイムライン」の普及を促進するため、地区役員・自主防災組織代表者を対象に説明会を開催し、動画等を参考に洪水等の災害時に身を守る行動について「マイ・タイムライン」の作成を通して学習した。
- 地区防災計画、個別避難計画の作成について、先進事例を参考に学習した。

- 開催日時:令和5年5月31日(水) 13:30~15:00
- 開催場所:勝央町総合保健福祉センター
- 主催:勝央町安全と安心のまちづくり会議
- 参加者:35名



マイタイムラインを作成しよう!

名刺(代わり)

周囲の状況 (雨の強さと降り方)	雨れ・曇り・小雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
避難情報	早期注意情報	大雨・洪水注意報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
防災・気象情報	大雨に関する気象情報	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報	河川の氾濫に関する情報
住民の皆さんの行動	土砂災害に関する気象情報	土砂災害注意情報	土砂災害警戒情報	土砂災害特別警戒情報	土砂災害発生情報

災害発生	1	2	3	4	5
災害発生	①準備する時間 ()分	②準備する時間 ()分	③避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	④避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	⑤避難開始から避難完了までの移動時間 ()分
災害発生	①準備する時間 ()分	②準備する時間 ()分	③避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	④避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	⑤避難開始から避難完了までの移動時間 ()分
災害発生	①準備する時間 ()分	②準備する時間 ()分	③避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	④避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	⑤避難開始から避難完了までの移動時間 ()分
災害発生	①準備する時間 ()分	②準備する時間 ()分	③避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	④避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	⑤避難開始から避難完了までの移動時間 ()分
災害発生	①準備する時間 ()分	②準備する時間 ()分	③避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	④避難開始から避難完了までの移動時間 ()分	⑤避難開始から避難完了までの移動時間 ()分

避難先
山の手前へ避難

災害発生

■ 災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

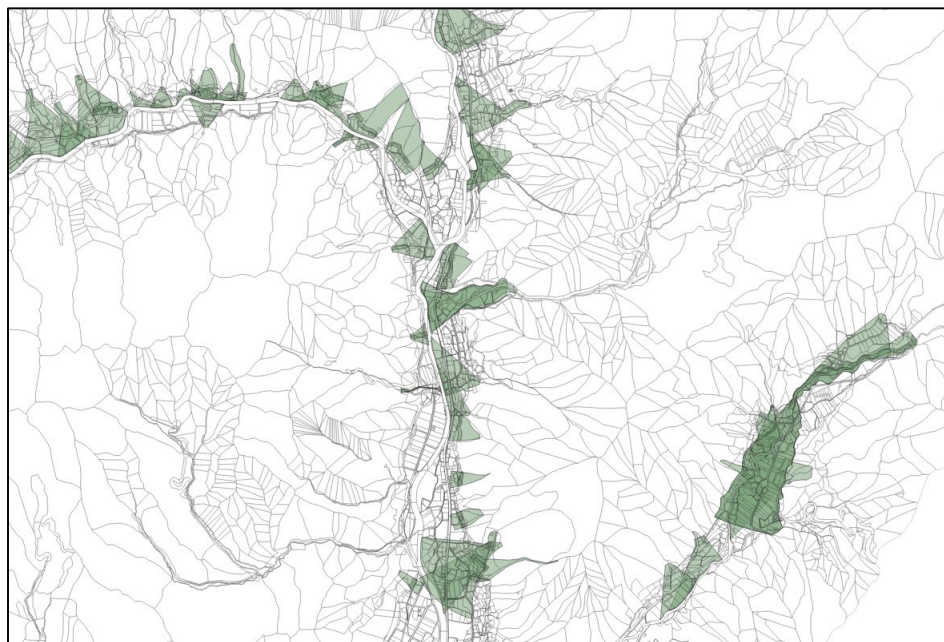
- 開催日時：令和5年9月～11月中の任意の日
- 参加者：各自主防災組織（全19組織） 約1,000名
- 実施場所：各地区コミュニティハウス等（指定避難所）
- 概要：昨年度作成した災害避難カードに基づく避難訓練
自主防災組織による避難所の開設及び運営訓練
小型ショベルを使用した水害リスク箇所の修繕・整備
消防団との連携による消火訓練 等



- 共助の仕組みの強化(水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有等)

QGISを用いた危険個所の高齢者の把握

- QGISを活用して、土砂災害警戒区域等の危険個所に居住する高齢者をピックアップ
- 色塗り、リスト化によって、高齢者福祉部局の個人で所有していたデータに頼らず、災害時迅速に次の対応をとれるようにする。



- 地籍情報と土砂災害警戒区域のshpファイルを重ね合わせることで、土砂災害警戒区域に含まれる土地を把握
- 住民情報と地番等を突合させることで、住民の把握ができる

■ 関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(R3年度～)実働水防訓練の実施

- 参加訓練名: 令和5年度 吉井川総合水防演習
- 日程: 令和5年5月27日、令和5年5月20日(リハーサル)
- 場所: 和気町原地先 吉井川右岸河川敷(和気橋下流)
- 参加者: 水防団員 延べ46名
- 概要

○国土交通省中国地方整備局等の主催で標記演習が開催された。
○演習では、水防団員による改良積み土のう工法が行われ、団員の工法習得の一助となった。
○参加した団員から、「実災害時にはスピーディな設営が必要。こういった訓練や講習会に多くの団員が参加し、実災害への備えが必要。」と話されていた。



土のう作成



土のう積み



工法完成

■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

小学生を対象としたこども防災教室の実施

自地域の過去の災害の歴史の学び舎、災害の模擬体験などを行い災害に対しての備え、自助の必要性について学習を実施。



▲ ピースウィンズジャパン指導の防災学習



▲ 洪水時の長靴での歩行体験



▲ 災害碑から過去の災害を学習



▲ 防災食を食器も含め作成

【活動実績】

美咲町防災士ネットワークと協働し、小学校5校、中学校1校で防災教室を実施。
※防災士ネットワークとは、町内の防災士が集まった任意団体です。

【参加者感想】

参加した児童からは「自分の命は自分で守る。」「災害時に困った人がいたら声をかける。」「家に帰り、非常持ち出し袋などおうちの人に確認する。」など感想があった。

■ 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備

【目的】

災害時等に消防団員が行う避難行動支援や水防活動を安全に実施できるように、視認性の高い活動服及び雨合羽を全消防団員に配備している。

【特徴】

- ストレッチ性を確保し動きやすい。
- オレンジ色及び反射材を用い視認性が向上。
- 全団員(約400名分)に支給することで迅速な対応が可能。
- デザイン性を考慮し消防団員の士気の高揚を図った。

<活動服>



<雨合羽>



■効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成

令和5年度吉井川総合水防演習(5/27)に参加

- 主催者・関係機関52機関、来賓・一般見学含め約1300人。
- 演習では、和気町に特別警報が発表されるという想定で、気象台長による和気町長へのホットラインを実演した。
- また、ペットボトル竜巻や液状化実験の体験コーナーを出展。
- 一般客・参加機関合わせて約40名の来場があった。



市町村等の取組状況 (高梁川水系)

■防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

緊急告知FMラジオ購入補助制度

- 緊急地震速報や避難指示等の防災情報、弾道ミサイル発射といった緊急情報を確実に届ける
- 防災情報の多チャンネル化への対応

■対象

- ・倉敷市在住で、スマートフォン等を所有していない65歳以上の方のみの世帯
- ・倉敷市在住の避難行動要支援者

■補助金額 一台につき8,450円(1世帯1台限り)※2,000円(税込)で購入可能

■事業開始日 令和5年6月1日～

■補助実績 550台(令和5年12月末現在)

※緊急告知FMラジオ： 緊急情報を受信した際に自動起動し、大音量で知らせるラジオ

防災行政無線（拡声塔）の課題

- ・ 台風の接近時など気象条件が悪い場合の周囲の騒音
- ・ 遮音性の高い住宅の増加

拡声塔から発信される情報が伝わりにくい

屋外からではなく、屋内から確実に情報を届ける
(伝達手段の多様化の強化)



【R7年度廃止】

災害時の緊急情報等を迅速・確実に伝える緊急告知FMラジオ購入補助制度を実施しています

【緊急告知FMラジオとは】
緊急地震速報や避難指示などの防災情報、弾道ミサイル発射といった緊急情報を受信した際、自動的に起動し、防災情報を大音量で知らせるラジオです。

情報発信の流れ

● 倉敷市在住で、スマートフォン等を所有していない65歳以上の方のみの世帯
● 倉敷市在住の避難行動要支援者

価格 10,450円 ⇒ **2,000円(税込)**

申し込み方法 ① 申込書に記入し、指定取扱店へ申し込みます。② ラジオが納品され次第、ご連絡しますので、お受け取りください。

必ずご確認ください ① 設置予定場所でFMくらしき(82.8MHz)を受信できるか、事前に確認ください。② ラジオは保証生産ですので、納品までにお時間をいただきます。

指定取扱店

- エフエムくらしき：白備町520-28 ☎ 086-430-0600
- たけのこ商店：真備町高田3652-1 ☎ 086-998-1514
- 児島市民交流センター：児島海岸1丁目2-38 ☎ 086-474-8550
- 玉島市民交流センター：玉島河原町1丁目10-1 ☎ 086-526-1400
- 玉島テレビ放送：玉島河原町1丁目2-31 ☎ 086-526-7075
- 玉島信用金庫、水島信用金庫の市内全店舗

倉敷市 お問い合わせ：倉敷市役所 危機管理課 ☎ 086-426-3645

■ 関係機関が連携し新型コロナウイルスを踏まえた(R3年度～)実働水防訓練の実施

- 梅雨前線を始めとした台風による洪水及び高潮等の災害に備え、気象情報、ハザードマップ等の防災知識を習得し、市民と防災関係機関が一体になって災害時に必要な行動について討議して、適切な避難行動がとれるよう訓練している。
- 土のう作成等の実践的な訓練を実施し、水害時における被害の軽減及び防災意識の向上を図っている。

- 開催日時:令和5年5月28日(日) 09:00分～12:00
- 開催場所:笠岡市立金浦中学校体育館及び体育館西側広場
- 主 催:笠岡市
- 参加者:93名(自主防災組織, 市内在住防災士, 消防団, 消防職員等)
- 講師:岡山地方気象台



▲岡山地方気象台による大雨・台風等気象情報・警報等に関する説明

▲市民, 防災関係機関によるマイタイムライン作成・討議

▲住家浸水防止に資する土のう作成・積工法

■ 災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う

- 平成30年7月豪雨災害から5年が経過し、災害の記憶を風化させることがないよう、改めて防災・減災について考える場を設け、水防訓練とともに、住民が日頃から河川や堤防に関心を持つ事を目指して実施

- 開催日時: 令和5年7月15日(土) 10:00~12:00
- 開催場所: 笠岡市保健センター2F ギャラクシーホール
- 主 催: 笠岡市
- 参加者: 約200名
- 講師: 総社市下原・砂古自主防災組織副本部長 川田一馬 氏



▲川田一馬氏による基調講演



▲「西日本豪雨災害の被災体験を通じて自主防災組織に求められるもの」



▲平成30年7月豪雨災害時に被災、復旧復興に携わられた方々と市長のディスカッション

■スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の情報発信

防災情報などをお届けする防災アプリの配信(浅口市防災行政ナビ)

- 浅口市では、災害時の情報伝達手段の一つとして、スマートフォン用の防災アプリを配信しています。避難指示や避難所開設情報などの配信やハザードマップ・関係機関のリアルタイムな防災情報を確認できます。平時には、アプリを通じて市からののお知らせや広報誌なども配信しています。

4月1日~利用開始!

災害に備える! 身近なスマートフォンアプリ

防災行政ナビ

アプリで何ができるの?

- 避難情報やJ-アラート等の国民保護情報が届く
- 防災行政無線で放送された内容を確認できる
- 市ハザードマップを確認できる
- オンライン地図機能で、指定避難所までの経路を確認できる
- 市からののお知らせや広報紙も確認できる

音声読み上げ機能や画像で分かりやすい!



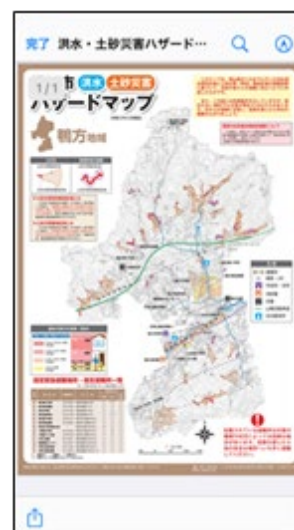




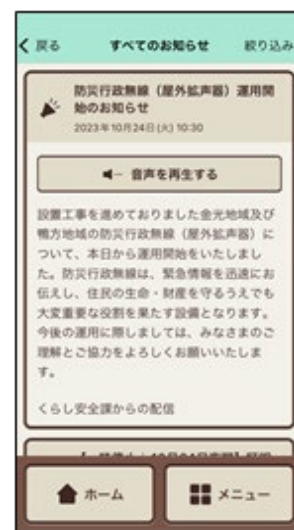
緊急モード オンライン地図 行政情報

【実施期間】

令和5年4月1日からアプリの運用開始



ハザードマップ



市からののお知らせ



広報紙



Android用



iPhone用



アプリダウンロード
QRコード

■小学生を対象とした防災教育の実施

- 小学生を対象に、学校、家庭や地域で講習会などを開催し、地域の防災意識向上を図る取り組みを実施した。

■小学校での防災教育

早島小学校では、5年生が「防災」をテーマに総合的な学習を実施しています。最初に町職員から町内の防災対策や水害発生時の避難場所などについて説明を受けました。学習を進め、その後、自らの学習の成果をまとめた、「防災ハンドブック」を作成しました。



■防災デイキャンプ早島

小学生のいる親子を対象に、町内のキャンプ場で、防災について学べるイベントを新聞社、企業、町の共催により実施しました。浸水被害を防ぐための土のうの作り方や設置の仕方、その他消火訓練などを実際に体験しました。



■ 排水機場・樋門・水門等の情報共有(連絡体制など)を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施

● 内水排除作業に使用する可搬式の軽量緊急排水ポンプユニットの操作訓練を実施。

- 開催日時: 令和5年5月15日 13:30~15:00
- 実施機関: 井原市建設課
- 参加機関: 井原市建設業協会、井原市農林課・都市施設課
- 開催場所: 小田川河川公園(井原市木之子町地内)
- 概要
 - 井原市と井原市建設業協会が締結している「災害時における応急対策業務の実施に関する協定書」に基づき、災害時に井原市と連携して行う内水排除作業に使用する可搬式の軽量緊急排水ポンプユニットの操作訓練を実施
 - ポンプユニットの設置、発電機の起動、放水方法を説明後、実際に操作を行っていただくことで、万が一の事態における作業の流れを確認



■小学生を対象とした防災教育の実施

- 小学生を対象に講習会を開催し、地域の防災意識向上を図る取り組みを実施した。

- 開催日時: 令和5年11月21日 10:45~11:25

- 実施機関: 井原市危機管理課

- 参加機関: 井原市立出部小学校4年生児童約60名

- 開催場所: 井原市立出部小学校

- 概要

- ・ 社会科授業の一環として、過去に市内で発生した災害、井原市危機管理課業務の紹介、防災マップの説明及び災害への備え等について講座を実施。
- ・ 合わせて、災害備蓄物資の普及啓発、備蓄促進及びフードロス削減を目的として、賞味期限が近いアレルギー対応アルファ米を児童に配布。



▲講座の様子



▲使用したスライド(抜粋)



▲配布したアルファ米

■ 防災DXで最新技術 (ARやVR技術) を活用した防災教育

- AR(拡張現実)とVR(仮想現実)を活用し災害(火災・地震・浸水)を疑似体験し、防災意識の啓発を行う。
- 防災講話や防災教育で活用。浸水疑似体験では、浸水が始まってからの避難は濁った水で足元が見えず、とても危険、かつ困難であることを体験している。


【活動実績】

R5. 2. 7	高梁中学校	12名(1~2年生)
R5. 7. 5	津川小学校	12名(3~4年生)
R5. 9. 4	高梁北中学校	13名(1年生)
R5. 9. 5	有漢中学校	50名(1~3年生)
R5. 9.26	高梁小学校	41名(4年生)
R5.11. 9	川上中学校	34名(1~3年生)
R5年度中	その他(自主防災会等)	325名

【AR(拡張現実)とVR(仮想現実) を活用した防災教育】


■ 教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施

- 市内の小学校(4年生)を対象に防災教育を2時限実施した。
- 1時限目は、市内で大きな被害があった平成30年西日本豪雨、令和元年集中豪雨を例に土砂災害・浸水害について講話し、国・県・市が災害を未然に防ぐためにどのような取り組みをしているか紹介した。
- 2時限目は、防災マップの見方、備えておくべき備蓄品を紹介、消費期限が1年を切ったアルファ化米を生徒に試食してもらうことで、ローリングストックについて意識づけを行った。

【授業風景】



- 開催日: 令和5年9月14日
- 実施機関: 新見市
- 実施場所: 新見市立思誠小学校
- 受講者: 63名
(生徒59名、教員4名)
- 令和2年以降は毎年実施。

【1限目: 災害を防ぐ!!】

 災害に備えて ♥ 新見市

砂防(さぼう)ダムとは

大雨のとき、たくさんの土砂が流れてくることがあり、建物に被害を与えることがあります。そのため、流れてくる土砂をせき止める砂防ダムを造り、土砂災害を未然に防ぎます。

過去の土砂災害

高尾(令和元年9月集中豪雨)



西方(令和元年9月集中豪雨)



【2限目: ハザードマップを使おう!】

 なぜ、ハザードマップがあるの? ♥ 新見市

新見防災



表紙

大雨・洪水
土砂災害
地震



情報面



地図面

■ 河川水位やライブカメラの情報をリアルタイムで提供

- これまで岡山県から里見川の浸水想定区域の指定を受けていたが、町はハザードマップでのみの周知となっていた。
- そのため、大雨などにより浸水被害が大きいと考えられる地域に対して、町は地元CATV会社と協定を締結し、次のとおり河川カメラを設置した。
 - (1) 町は、設置場所の提供及び河川カメラの設置に係る費用を負担する。
 - (2) 地元CATV会社は、維持管理及び自社のコミュニティチャンネルで放送する。

実際の放送画像



- 放送時間 毎時30分から00分まで

今後の予定

- 量水標の設置
- 内水氾濫のおそれのある水路等にも今後、設置を検討していく

避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

■ ダム再生の推進（操作規則の再検討、治水機能の増強の検討、利水ダムの治水活用）

◆ 2023年度の出水期を向かえるにあたり、以下について今年度も継続して取組み、新成羽川ダムの事前放流等を確実に実施した。

教育・訓練

- ・事前放流のルールの徹底
 - ・ダム操作基本原則の理解と徹底(ダム放流に関する危害防止・ダム操作規程の遵守)
 - ・機器故障時における対応および連絡体制の構築
- 《(国交省主催)・洪水対応演習(ダム管理演習)(4/28)

《ダム管理教育》・通知・通報・巡回警告訓練

 - ・事前放流に関する研修
 - ・ダム管理基礎研修
 - ・ダム管理応用研修
 - ・ダム操作者研修
 - ・連ダム操作者研修
 - ・管理主任技術者研修

ダム操作関係設備の点検

- ・ダム操作に係る機器の点検・整備の実施(メーカー点検含む)

異常出水への対応

- ・通信手段の途絶、道路の不通等を考慮した緊急措置の確認

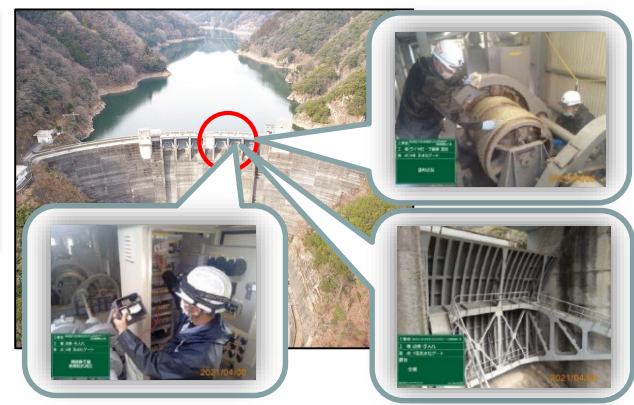
理解活動等

- ・関係機関・関係者に対する周知・徹底 (ダム下流域に対する理解活動の実施)
- ・当社HPへのダム画像公開(2021年6月～)
- ・川の防災情報への諸量データ公開(2021年6月～)
- ・中国電力ダム・水力発電所の写真展を開催(流域治水の取組を説明したパネル展示およびパンフレットを配布：2023年9月15日～29日)

通知通報装置研修



事前放流に関する研修



【ダム操作関係設備点検】



【写真展状況】

【各種教育・訓練の実施】

■水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催

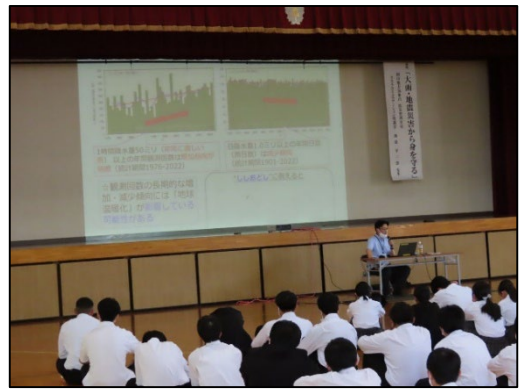
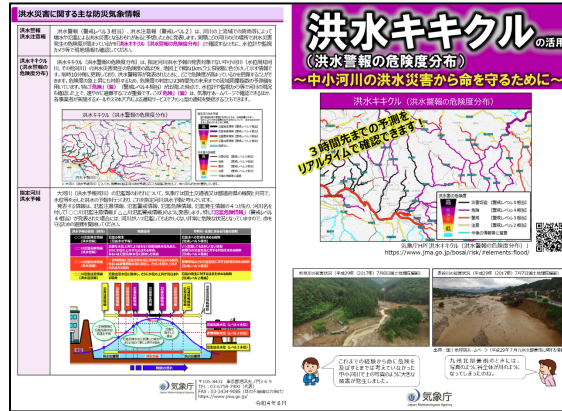
■公民館や学校などを対象に、防災についての知識解説を行った。

〈開催例〉

- 津山工業高等学校 : 高校生約230名。大雨や地震による災害、防災情報の活用を解説
- 倉敷市立味野^{あじの}中学校 : 中学生約140名。地震・津波による災害と備えについて解説
- 倉敷市真備児童館 : 小学生約10名。自然災害についての普及啓発、ペットボトル竜巻の実験

令和5年度の実績(2023年12月末時点)

5/9(公民館), 5/16(公民館), 5/31(高等学校),
6/16(高等学校), 6/25(図書館), 6/29(地域担当職員研修),
7/14(病院協会), 7/27~7/28(消防学校), 8/1(児童館),
8/25(公民館), 10/20(中学校), 12/25(町役場)



【津山工業高等学校】



【倉敷市立味野中学校】



【真備児童館】

【洪水キキクルのリーフレット】
リーフレットの配布なども実施